



愛犬の散歩をするときのルール

心ない飼い主によって繰り返されるフンの放置も、普段は持ち帰っているのにその日だけ出来心でしてしまったフンの放置も、フンを残された側にとっては同じ行為であり、飼い主や愛犬が嫌われる原因になります。



フンは必ず持ち帰る

埼玉県条例で犬を放して散歩することは禁止されています。よくしつけられた犬や小さな犬であっても、周囲の人の急な行動や大きな音などで意外な行動をとる場合があります。また、公共の場には「犬好き」の人ばかりでなく「犬が苦手」、「犬が怖い」と感じる人がいるかもしれません。さまざまな人がいることに配慮し、また予測困難な事故を防ぐためにも、リードでつなぐことはもちろん、犬のつなぐ行動に対応できるように、リードは短めに持って散歩することが大切です。



犬はリードでつなぐ

埼玉県条例で犬を放して散歩することは禁止されています。



9月20日～26日は「動物愛護週間」です！

動物愛護週間は、広く国民の間に、命あるものである動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるために、「動物の愛護及び管理に関する法律」に基づいて設けられています。

ペットを飼うまえに

ペットを飼うという事は「命の責任を持つ」ということです。ペットを飼うことは楽しい時間を得ることができませんが、一方で、お金や時間・労力や忍耐などが必要になります。これらの負担を伴うという覚悟を持たないままにペットを飼った場合、飼い主にとってもペットにとっても不幸な結果になってしまう場合が多く見られます。県内では、毎年約六千匹の犬やねこが殺処分され、そのうち約二千匹は、飼い主から引き取られたものです。また、ペットを無責任に捨てた場合、犯罪行為として「動物の愛護及び管理に関する法律」によって50万円以下の罰金に処せられます。ペットの命が尽きるまで飼っている覚悟を持っていないのならペットを飼わないことも立派な動物愛護です。環境衛生課(江南庁舎) 048-536-1521



電柱などにしたオシッコは水で流す

トイレはお散歩前に自宅ですませましょう。ペットボトルに水を入れて持ち歩き、電柱や他人の家の壁などにオシッコをしてしまった場合は、すぐに水で流すことが飼い主のマナーです。



その他の大事なルール

人に迷惑をかけないように、犬の生態や性質を理解し、

ねこは室内で飼いましょう

ねこを外飼いした場合、交通事故にあつたり、さまざまな病気に感染する危険があります。また、飼うことのできない子ねこが生まれてしまう場合もあります。ねこは上り下りの縦方向の運動ができれば室内でも十分な運動になります。ねこを飼う場合は、室内で飼育しましょう。



無責任な餌やり

やさしい気持ちであっても、無責任に餌やりだけをしていると、近隣の理解は得られず、ねこそのものも嫌われ者になってしまいます。置き餌はせず、餌の管理をするとともに、トイレの設置・清掃など適正な管理で周辺の環境を守ることが必要です。なお、ねこの増加を防ぐため不妊去勢手術を行いましょう。

ペットの防災対策

災害はいつ発生するかわかりません。「備えあれば憂いなし」とはペットにおいても同じです。災害時のペットの安全はまず飼い主自身が確保してあげましょう。準備しておくこと

- ・フードと水(1週間分)
- ・トイレや排泄物を処理できる袋
- ・ペットシート、タオルなど
- ・常備薬や健康記録・写真
- ・移動用ケージやリード
- ・犬鑑札、注射済票、名札
- ・マイクロチップの装着
- ・しつけ、ケージトレーニング
- ・緊急時に動物を預かってくれる知人など

- 犬に関する相談・問合せ
- ◆熊谷保健所生活衛生・薬事担当 048-523-2811
- ◆環境衛生課(江南庁舎) 048-536-2465
- ◆環境衛生課(江南庁舎) 048-536-1521
- ◆妻沼行政センター市民環境課



葛和田のあばれ御興



出来島のあばれ御興



めめま祭り

躍動感あふれるめめまの祭り

妻沼の夏の風物詩である東の葛和田大杉神社と西の出来島八坂神社の勇壮なあばれ御興が7月24日に、第20回めめま祭りが8月6日に行われました。熱狂し躍動する人々、妻沼のあつい祭りが今年も盛大に行われました。



おおさと夏まつり、踊りとグルメで盛大に

7月31日、天候の関係で前日から順延になった「あついぞ！熊谷おおさと夏まつり」が、今年も大里総合グラウンドを会場に地元グルメの模擬店も多数出て、特設ステージでは子どもたちのダンスが披露されました。



涼しさを目で体感！まちなか「涼しさ」体感アート

市内専門学校の協力により、JR熊谷駅の正面口・南口の階段に涼しさを演出するアートを設置しました。



箏演奏に癒されました

8月2日、文化会館ホワイエにて、平安貴族の七夕祭り「乞巧奠」の展示と中条中学校音楽部による納涼ミニライブが行われました。同会場へ練習に訪れていた富士見中学校音楽部の皆さんも美しい音色に聞き入っていました。



台風シーズンを前に水防訓練実施

7月16日、見晴町地先荒川左岸堤防で、荒川北緑・南緑合同水防訓練が実施されました。照りつける太陽の中、水防団員による水防工法の訓練および埼玉県防災航空隊のヘリコプターの偵察・救助訓練が行われました。

【お詫び】 8月13日(土)に開催された熊谷花火大会では、打ち上げ場の火災により花火の中断等、ご迷惑をおかけした事をお詫びいたします。◆熊谷市観光協会(商業観光課内) ☎内線 513



熊谷野菜で夏ごはん

～フードコーディネーター SHIORI さんが料理教室～

8月2日、「熊谷野菜で夏ごはん」クッキング教室が開催されました。これは、本市出身でフードコーディネーターとして活躍し、「作ってあげたい彼ごはん」(宝島社刊)の著者でもある SHIORI さんと、市長との新春対談がきっかけとなり実現したものです。



平成 23 年市報 1 月号の市長との新春対談

今回は、女子高校生対象の教室でした。計量の仕方や、出汁のとり方など、基本から丁寧に教えていただき、『ネギ塩豚のとろろ丼』、『オクラと卵のお吸い物』、『ゴーヤのピリ辛ごまマヨ和え』を作りました。

「とてもわかりやすく、楽しく料理ができた」、「おいしかったので、家でも作ってみたい」と大好評でした。後日、実際に家で家族に作った参加者からは「家族からおいしいと大絶賛された」という声も届いています。



「家でも作ってみたい」と大好評！



- ①ネギ塩豚のとろろ丼
- ②オクラと卵のお吸い物
- ③ゴーヤのピリ辛ごまマヨ和え

楽しくおいしい夏ごはんの完成！すべて地元産の食材でできています。

今回使用した農産物は、お米(キヌヒカリ)、大和芋、長ネギ、オクラ、ゴーヤ、豚肉、卵で、すべて地元産です。ゴーヤは妻沼庁舎のみどりのカーテンから収穫したもの、豚肉と卵は彩の国優良ブランド品に認定されている『愛彩豚』と『彩たまご』を使用しました。「どれも新鮮でおいしく、熊谷には素晴らしい食材がそろっている」と SHIORI さんも感動していました。

シリーズ 荒川・利根川は、お休みします。

市報クイズ7月号で寄せられたご意見を紹介します。

おたよりパレット

テーマ 災害への備え

いつ起こるかかわからない災害に対して、皆さん備えにぬかりがないようです。いざというときの対応について、日頃から考えるのは大切なことですね。

※おたよりパレットは、市ホームページでも詳しく紹介しています▶ <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>

- 今年はいじめてランタンを購入しました。夜の計画停電では、暗い部屋でランタンの明かりが心暖まり、ほっとできたので電気のありがたさを実感しました。(40代・男性)
- 3年前に長女を産んでから、いざというとき子どもを守るのは自分だ！という責任感から、玄関に災害時の避難用バックを準備していました。バックの中は、タオルや子どもの着替えやオムツなどです。年に1回チェックして、中身を入れ替えています。(30代・女性)
- なんといっても食糧です。我が家は常時、缶詰とミネラルウォーターはすぐに持ち出せるようにしています。(50代・女性)
- リュックに水、食糧のほか、ラジオ、薬などを入れ、定期的に中身を確認しています。(50代・女性)
- 家族との連絡方法や帰宅方法について話し合っています。(40代・女性)

応募方法

ハガキまたはEメールに、クイズの答え・住所・氏名・年齢・電話番号・今月のテーマ「市内のおすすめ紅葉スポット」についてのコメントを必ず記入のうえ、9月22日(木)までに応募ください(一人につき一通)。※コメントがないものは無効となります。

【応募先】 〒360-8601 宮町二丁目 47 番地 1 熊谷市広報広聴課 ☎kohokocho@city.kumagaya.lg.jp ※なお、市内の商店・企業を知っていただくという趣旨で、当選者にはプレゼント引換券をお送りしますので、お店でご利用ください。当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

7月号の正解 ①クール ②まちなか ◆応募総数 66 通中、正解 64 通

今月の問題

次の□に入ることばや数字を、それぞれお答えください。①ダモンネ□は、高齢者や子育て中の親子、障害のある方などが交流を図る施設です。②9月20日～26日は□週間です。

今月のプレゼント

ジュピターイーサイト 籠原店ご提供の、輸入食品詰め合せを、正解者の中から抽選で10人に差し上げます。

ジュピターイーサイト 籠原店 所在地:新堀713イーサイト籠原1階 電話:048-598-7481 今月のテーマ「市内のおすすめ紅葉スポット」にいただいたコメントは、「おたよりパレット」や市ホームページで紹介させていただく場合があります。

読んで当てよう 市報クイズ



市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは、広報広聴課 ☎内線 212 までお問合せください。



アルティメットは、サッカーのボールをフリスビーに入れかえたような競技で、投げる・走る・捕る・戦術が複雑に絡み合った奥が深いスポーツです。まさにその名のとおり、フリスビー競技の中で究極の競技といえます。そんな競技と私との出会

ダイブキャッチに魅せられて

情熱世代 夢追い人

ダイブキャッチで世界の頂点を掴む
アルティメット日本代表クラブチーム「MUD」所属
内藤千佳子さん(柿沼)

学生時代に様々な大会に出場し、色々な人たちと出会ったおかげで、現在所属している「MUD」というクラブチームに声をかけていただきました。このチームは、世界クラブチーム選手権で世界一に輝いたこともある強豪チームです。もちろん、所属しているチームメイトはスポーツエリートの方ばかり、正直最初は不安を感じていました。そんななか、初めて出場した大会でダイブキャッチを決め、そのプレイが得点につながり、自信を得ることができました。このワンプレイで、チームの中で自分の役割がわかり、同時に自分の存在価値を見出せたのです。

存在価値を見出したキャッチ

いは、大学のサークルの新生歓迎会でした。跳躍しながらフリスビーを捕るダイブキャッチのデモンストレーションを見た瞬間、私の進むべき道は決まりました。入部した年の大会では全国最下位という結果になり、非常に悔しい思いをした学生選手権。卒業を間近にした大会で、4年間ともに汗を流してきた仲間達と初めて本選出場を決めた一戦は、今でも一番印象に残っています。

世界の頂点を目指して



「MUD」のメンバー(2列目右から3番目が内藤さん)

現在、平日は仕事を終えた後に個人で基礎体力作り、週末はチームでの練習と、仕事と競技の両立をしながら技術を磨いています。まず目の前の目標は、この秋に行われる全日本選手権で優勝することです。そして、3年後に控えた世界大会で王者になるのが、長期的な目標ですね。アルティメットは、今はまだマイナーな競技です。しかし、体格が劣る日本人でも、戦術と技術を駆使することによって、世界で戦っている競技でもあります。これをきっかけに皆さんが興味をもって応援してくださいとうれしいです。また、毎年2月には熊谷スポーツ文化公園で関東オープンという大会が開催されていますので、ぜひ見にきてください。

埼玉県フライングディスク協会ホームページ
<http://sifda.org/>

発行日 平成23年9月1日 ●発行 熊谷市
編集 広報広聴課 〒360-8601 熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111(内線2006) FAX 048-520-2870



さあ、歩こう!
くまがや人ぽ

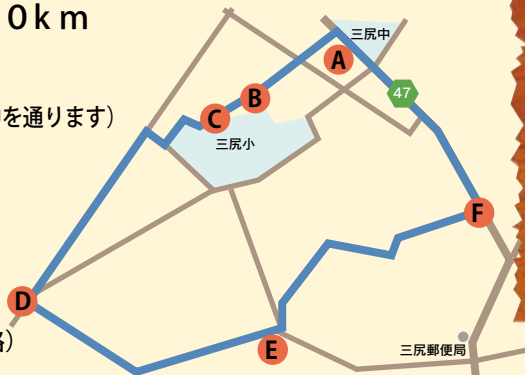
市内の名所やちょっとした景色を楽しみながら、ウォーキングができるコースをご紹介します。運動不足解消や新たな熊谷の発見など、楽しみ方をさがすのも良いかもしれませんね。

◆スポーツ振興課 TEL 内線 391

第5回 三尻公民館周回コース

歩く距離 約2.0km

- A 三尻公民館 (200m)
- B 八幡神社(境内の中を通ります) (140m)
- C 三尻小裏 (470m)
- D 馬頭観音 (430m)
- E 酒造会社 (420m)
- F 県道交差点(T字路) (340m)
- A 三尻公民館



ウォーキングのポイント

- ・歩幅は、肩幅の1.5倍が目安。
- ・自分のペースで風を感じる速さで歩く。
- ・専用シューズを利用してアクティブに。

コースの概要

三尻公民館をスタートして源氏ゆかりの八幡神社を参拝し、歴史を感じる閑静な住宅街を歩く2kmのコースです。八幡神社は1056年、鎮守府將軍源頼義と八幡太郎義家が、前九年の役出陣にあたり、この地に足をとどめ先勝を祈ったところです。



B地点付近



D地点付近

歩いた距離をウォーキングポイントカードに記録し、300kmに達した方には、ささやかな景品を贈呈します。カードは、スポーツ振興課に置いてあるほか、市ホームページからもダウンロードできます。

人口と世帯

●平成23年8月1日現在(対前月比)
■人口 204,330人(-480) 男 101,997人(-487) 女 102,333人(+7) ■世帯 82,267(-415)

「市報くまがや」9月号は、72,000部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり15円です。

「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

「市報くまがや」は、毎月1日(原則)に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧いただけます。(URL) <http://www.city.kumagaya.lg.jp/>